

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アオハリ			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日 ~ 令和8年 1月 9日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 15日 ~ 令和7年 12月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所の支援に満足していただけていること。	・活動後に振り返りを行い、良かった点や反省点を共有し、次回の活動に活かすことができている。 ・土曜、祝日のグループワークやイベントは、子どもや保護者の要望も取り入れて実施している。	・楽しんでいただけではなく支援の充実を図るために、職員同士の連携を強化し、より事前準備に力を入れたり、明確な役割分担を行ったりしていく。
2	・子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている。	・前年度の分析を踏まえて、伝達事項の記録の徹底を行うことができた。 ・保護者への連絡帳を丁寧に記入している。 ・活動を行う際に、口頭のみではなく予定表や手順書、工程表などを用いてそれぞれの子どもと意思の疎通を図っている。	・送迎時に保護者に対して口頭での伝達をより丁寧に行う。 ・子どもたちがどの職員にも自分の意志を示すことができるよう、子どもの気持ちに寄り添い、引き続き信頼関係の構築を図る。
3	・保護者からの相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	・定期的な面談の機会を設けるだけでなく、保護者から相談があった場合には、児発管が中心となり必要に応じて職員に共有を図り、子どもたちへの支援を行っている。	・どの職員でも相談の窓口となることができるよう、勉強会等でスキルアップを図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の機会や家族向けのイベントが少なく、開催時の参加者も少人数であること。	・保護者やご家族の方が求める活動、イベント内容と事業所が企画した内容に乖離があったと考えられる。 ・イベント開催時間や場所の影響で参加し辛かったのではないか。 ・周知が不足していたのではないか。	・事前に保護者やご家族が望まれる活動や開催時期・時間などの聞き取りを行い、幅広く参加していただきやすい活動の検討を行う。 ・イベント開催時には、掲示物のみでなく口頭にて案内を行う。
2	・地域の児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ないとこと。	・地域の公共施設・公共交通機関や店舗を利用して地域と関わる機会は度々設けたが、他の子どもと交流するという目的で企画をしていなかったため。	・保護者や子どもたち本人からのニーズを確認した上で、必要に応じて近隣の児童館などをを利用して交流の機会を設ける。
3	・業務において職員ごとに意識や認識の差があること。	・ミーティングや連絡ノートにより職員に情報を共有しているが、確認が不十分であると考えられる。 ・日程や勤務時間によってはミーティングに参加できない職員がいるため。	・職員ごとに認識に差が出ないように、不明点があれば確認することを徹底する。 ・記録を残した上で、口頭での情報共有を第一とする。